

少年少女世界伝記全集

おしやかさま

菊地 正



主婦の友社版

少年少女世界伝記全集 21

おしゃかさま

	菊 地 正
	おしゃかさま 主婦の友社 昭和52年(1977) 175p 22cm 〔分類〕909

筆 者 菊 地 正

発 行 者 石 川 晴 彦

印刷・製本 凸版印刷株式会社

定 価 480円

発 行 所 株式会社 主婦の友社

東京都千代田区神田駿河台1-6

郵便番号 101 振替 東京2-180番

電話 東京(03)294-1111(大代表)

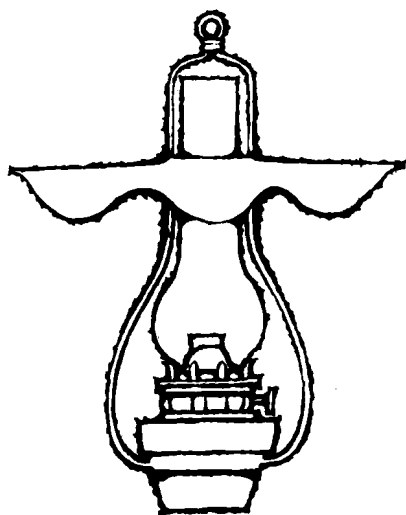
©1977 落丁・乱丁はおとりかえします。 著者との話しあいにより検印廃止。

少年少女世界伝記全集

おしゃかさま

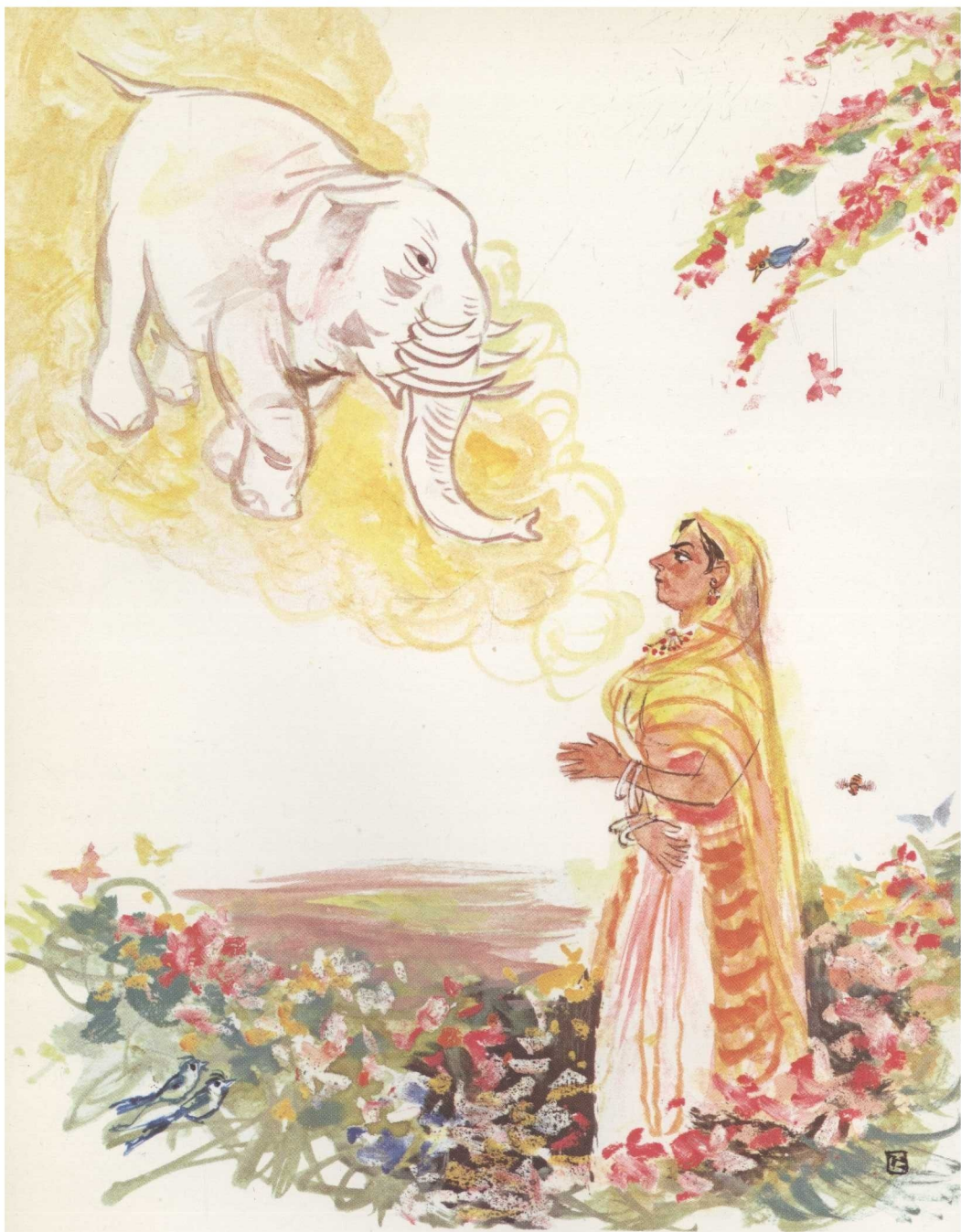
文・菊地 正

絵・吉崎 正巳

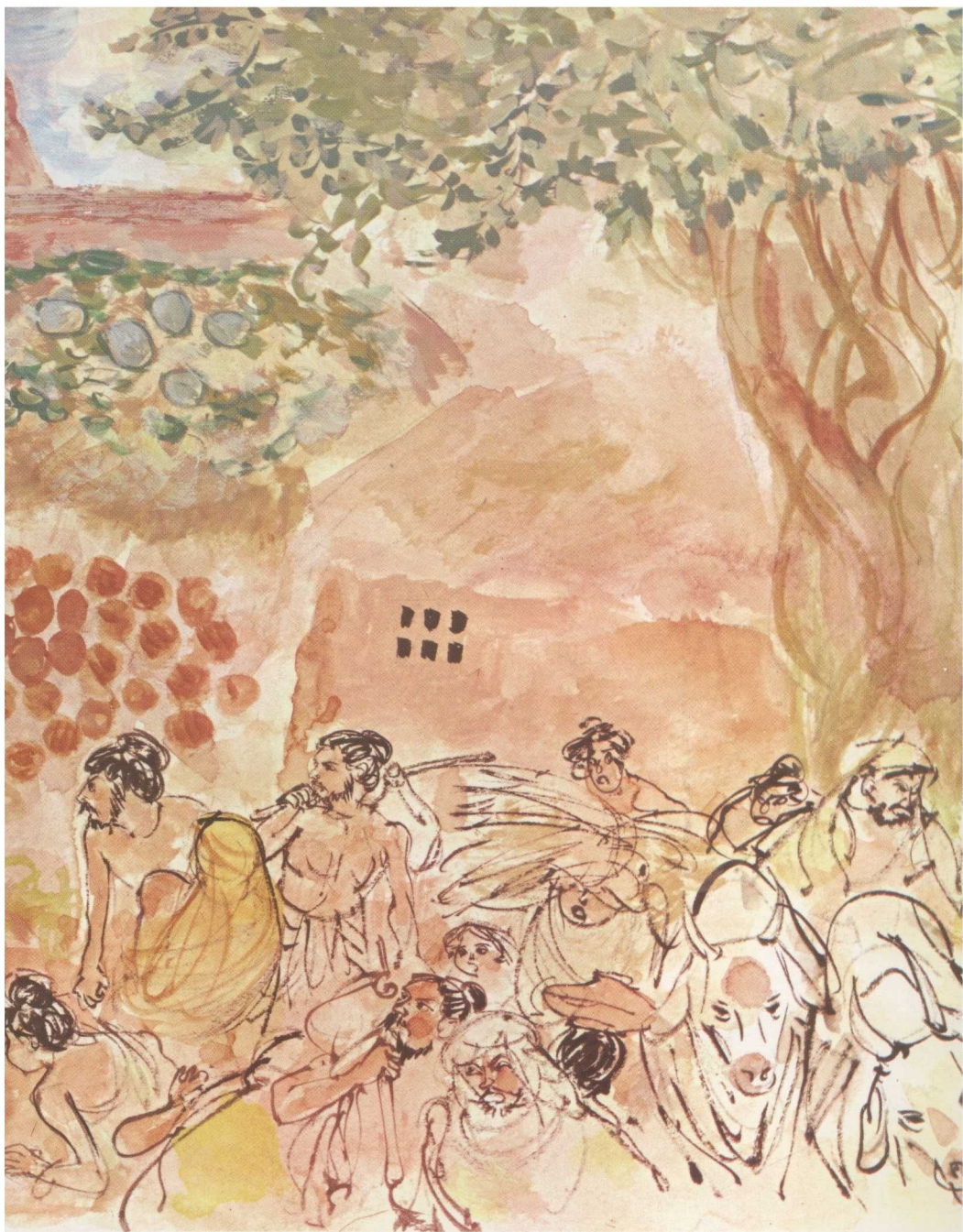


主婦の友社版

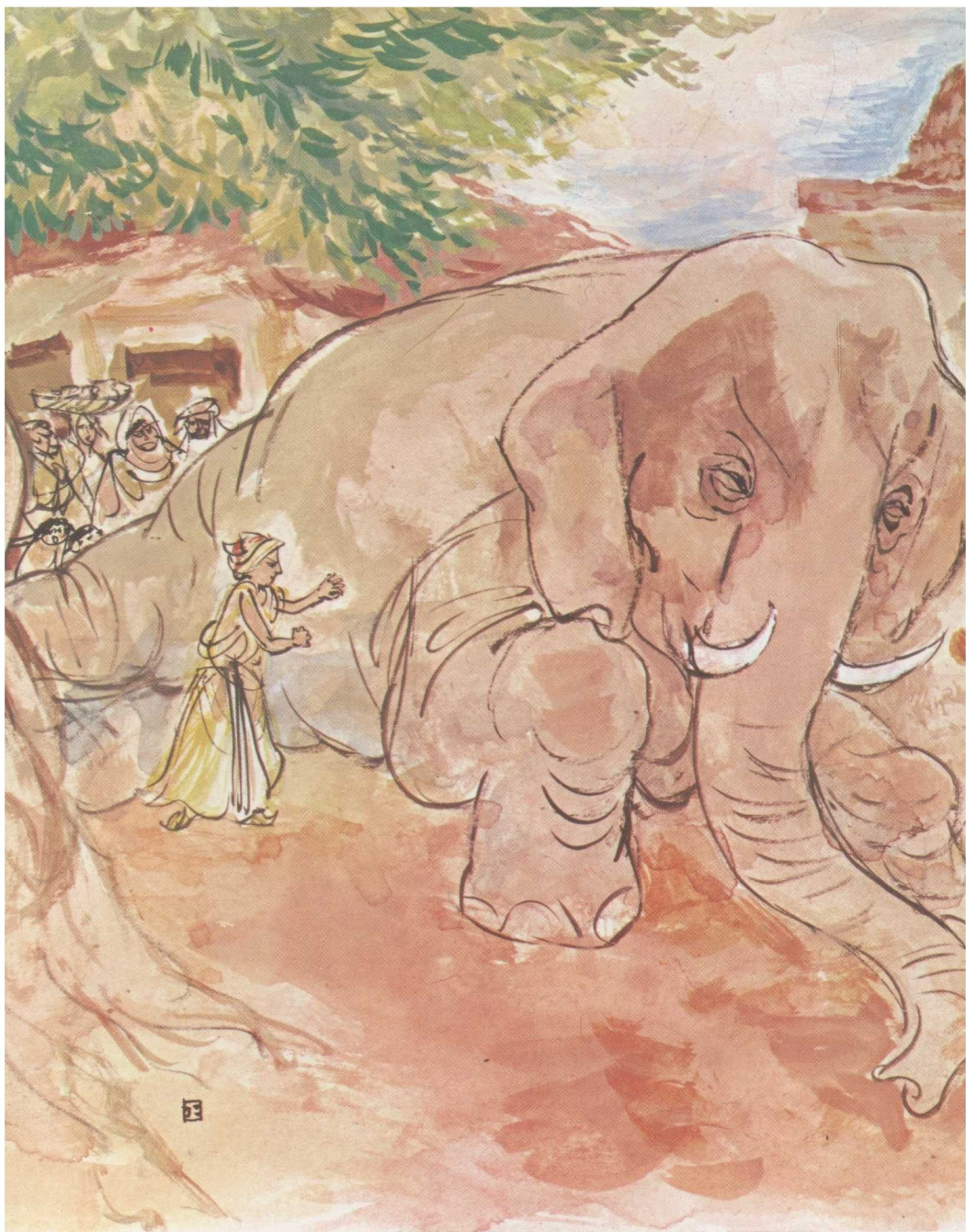
デザイン 駒宮録郎
装丁



は
晴れわたった青空に、さっと金色の光がさしてきました。
見ると、ふしぎなことに、光に乗って、一頭の大
きな白い象が、マヤ王妃にむかってすすんでくるのです。



らと立ちあがりました。王子をみると、うれしそうに、
鼻を高くふりあげました。

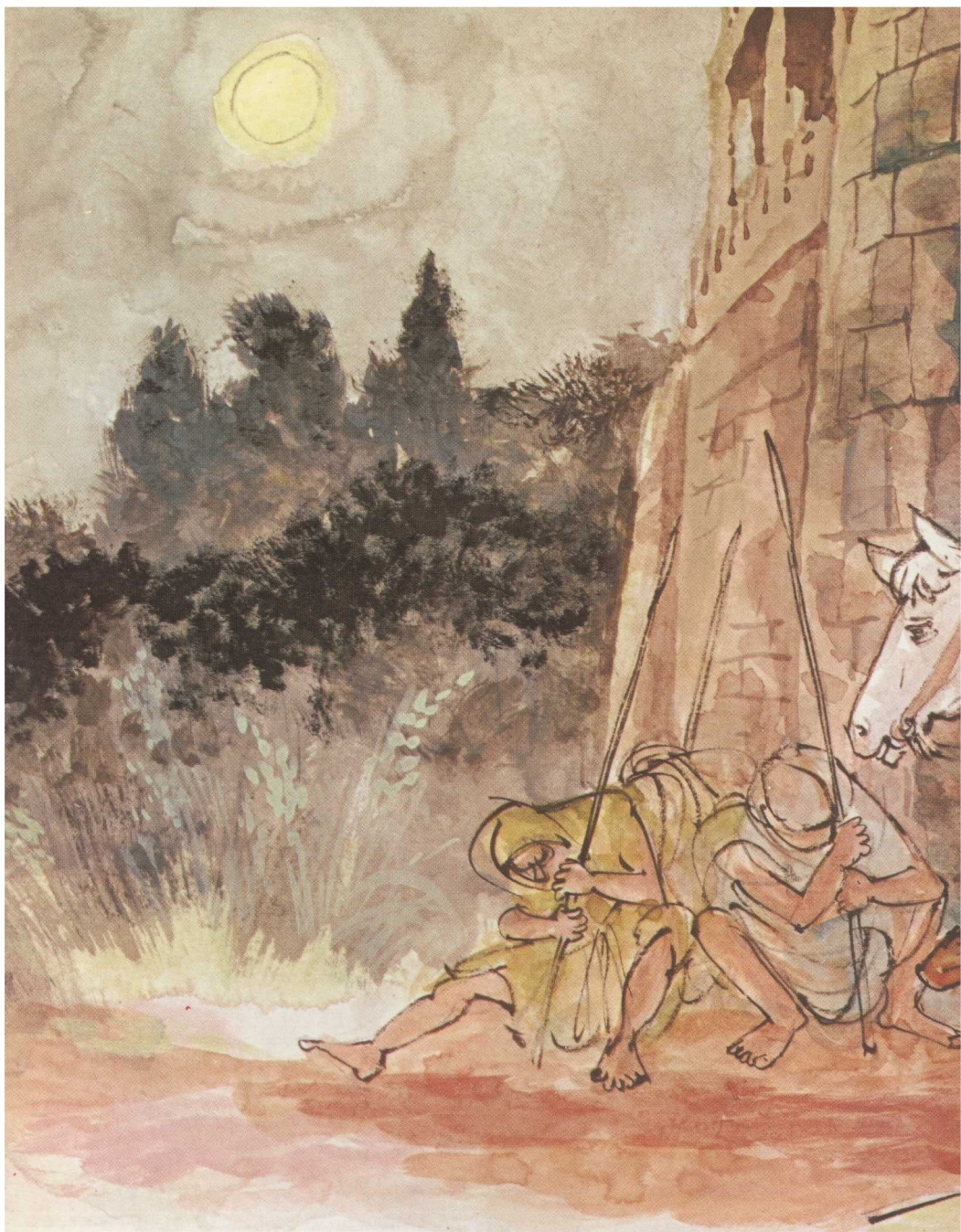


シッタルタ王子は、象の背中にまわって、なでてやってから、「えいっ！」と気合いをかけると、象のからだを起こしてやりました。象は、小さい目をあけると、ふらふ

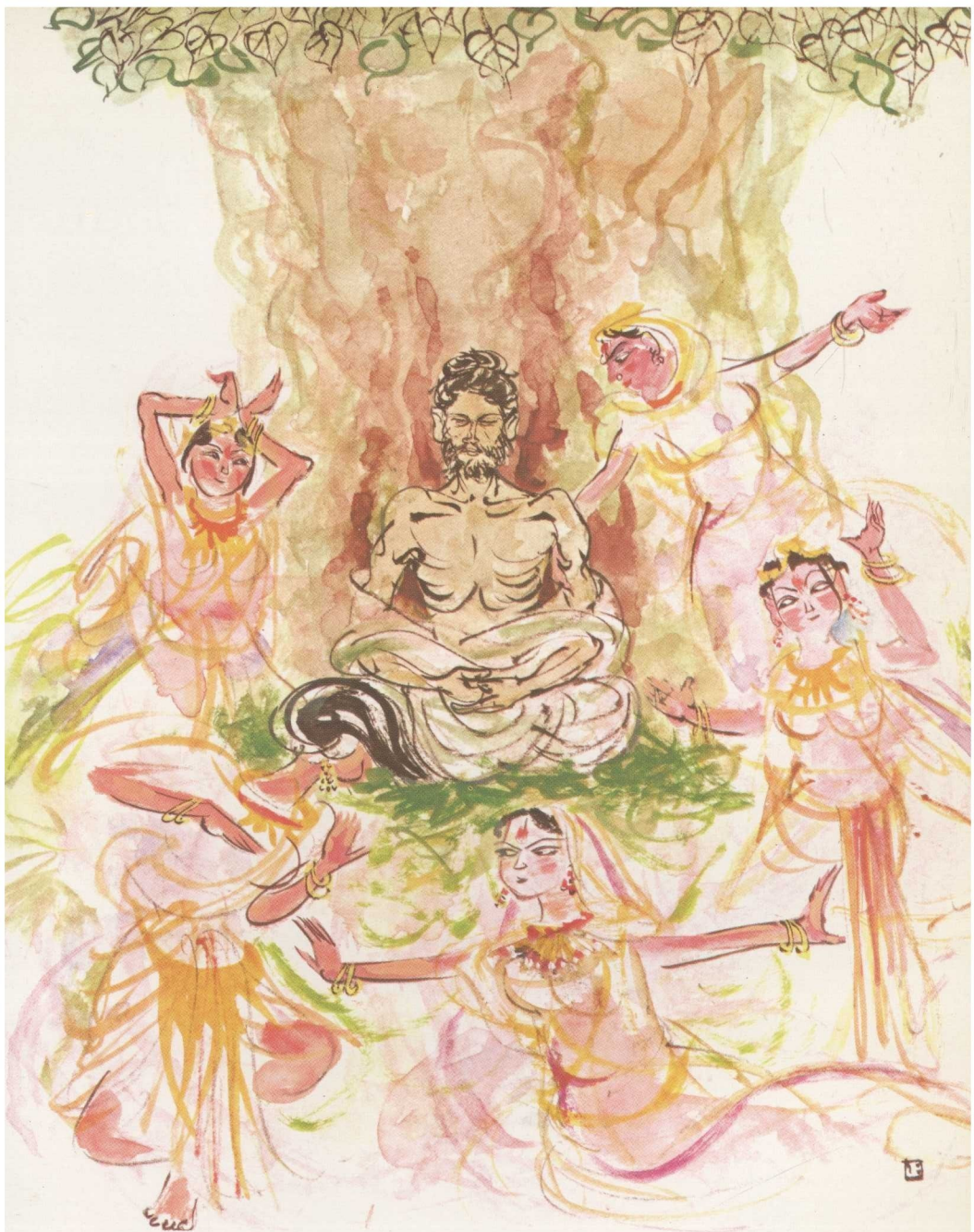


五

に門がひらきました。見張りの兵士たちもぐっすりとね
こんでいるのです。



王子は、ヒマラヤの雪よりも白いカンタカにまたがりま
した。おともは、チャンダカひとりです。王子が宮殿の
筒に立ったとき、ふしぎなことに、するすると、しぜん



「^{おうじ}王子さま、ごいっしょに、^{おど}踊りましょう。」^{あくま}悪魔が^ば化した^{しょうじょ}少女たちは、シッタルタをさそいこもうとして^{うた}歌いはじめました。そして^{たの}楽しそうに^{おど}踊り^だ出すのでした。



マーラーたち悪魔は、見る見る地面の底に、すいこまれていきました。すっかり悪魔が消えると、あなは、ぴったりふさがってしまいました。



おしゃかさまが、なくなられてから、2500^{ねん}年あまりすぎ
ました。しかし、その^{おし}教えは、^{ひと}人びとを^{みちび}導き、^{せかい}世界を照
らす^{ひかり}光となっています。

みなさんへ

四月八日は、花まつりです。

お寺の花御堂のやねは、春の花ばなで飾られ、おまいりにきた人たちは、御堂の中に立っている、小さなほとけさまに、あま茶をかけてあげます。かわいらしいほとけさまは、右手で天をさし、左手で地をさしています。

この、小さなほとけさまが、おしゃかさまで、花まつりは、おしゃかさまの誕生日を、おいわいするお祭りなのです。

おしゃかさまは、王子さまとして生まれましたが、まずしい人や苦しんでいる人たちが、どうしたら幸せになれるかを考えました。そして、きびしい修行をかさね、さとりをひらき、人間の正しい生き方を見つけました。

おしゃかさまは、かぞえきれないほどの苦しさをのりこえ、一生をかけて、人びとの幸せのために、ほとけの教えをひろめました。

おしゃかさまの、いつくしみ愛する心、美しい心を、この本から、しっかりと読みとってください。

菊地

正

もくじ

王子さまの誕生

白　い　象

ルンビニーの花園

仙人の予言

たくましい成長

腕　く　ら　べ

四つの城門

いけにえの儀式

王子のなやみ

美しい姫

あわれみの心

決　心

15

15

21

27

36

42

55

55

63

71

78

87

きびしい修行 しゅぎよう 93

苦しさとたたかう くるしみ 93

五人のけらい ごにん 99

いのちを呼びもどす よ 105

不動の心 ふどう こころ 112

明けの明星 あけの みよう じよう 118

世界を照らす光 せかい て ひかり 129

おしやかさまの名まえ な 129

千人の弟子 せん にん で し 135

ダイバタッタのさいご さいご 145

楽しいぼん踊り おど 154

ほとけさまの教え おし 159

あとがき 170

年表 ねん ひよう 174

王子さまの誕生 おうじ たんじょう



白い象 しろぞう

澄みわたった青空に、銀色の雪をいただいたヒマラヤの山やまが、美しくかがやいていました。

いまから二千五百年あまり前のこと、ここは、インドの北にあるカピラという国